

高知憲法速報

No.248 2011. 2. 7

発行：高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

2・11「建国記念の日」に反対するつどい

今年は幸徳秋水刑死100年であり、当時の世論が日露戦争へ傾斜する中での非戦論の意義、そしていま改めて平和とは何か、国家とは何かを考えます。

2月11日(金)10時～12時 高新文化ホール

主催；実行委員会(事務局・高教組) 参加費 500円
講師；松岡僖一(高知大学名誉教授・自由民権館館長)

「日露戦争と非戦論—自由・平等・連帯を求めて—」

高知憲法会議総会 2・3

2011年度の総会を2月3日に開きました。「地域主権改革の問題について」岡田和人・共産党県委員会常任委員のミニ講演の後、総括・情勢・方針・決算・予算・監査報告を受けて討論、原案通り可決しました。すべての分野で憲法をくらしにいかす運動が大事になっており、憲法会議の運動が求められています。

財政確立のためにも会員拡大が課題で、団体・個人の入会を訴えます。付属の申込書を活用してください。役員は幹事・会計監査に一部交代がありましたが、代表委員、事務局は全員留任しました。代表委員は土田嘉平、国松勝、野崎英明、山岡美和子、谷脇和仁、春名なおあき、武井恵美子の各氏、事務局長は徳弘です。

全国各地で比例定数削減反対・憲法を守り活かす運動—憲法しんぶん464号、速報版277号より—

【全労連】新しいリーフレット「比例定数削減でムダ削減？民意を反映する選挙制度に」(A4版・三つ折り・カラー)を50万部作成し、年初から単産と全国に届けています。春闘の中で活用、討議を深めることにしています。

【宮城】「比例定数削減を許さない宮城連絡会」結成めざす準備会は、1月6日、県選出の国会議員全員と政党に対し要請行動を行いました。2月の連絡会結成に向け、団体、個人の賛同を広く呼び掛けています。

【埼玉】埼玉土建は昨年11月の「集い」での呼びかけを受け、比例削減反対署名に取り組み、昨年末までに、ほとんどの支部から合計6万を超えて集約しています。

【東京】東京憲法会議は、東京共同センターの事務局

団体として活動しています。昨年の9・29学習決起集会を受け、「10・14学習会」「11・30ストップ！比例定数削減反対署名推進学習決起集会」を開催。「正直言ってこの問題は重い」という意見もふまえ、都民の要求と結び、署名に取り組み、2月末を第1次集約とし、3月には国会提出行動を計画しています。

【千葉】千葉県憲法会議は12月8日、総会を開催。日米同盟と憲法の矛盾の拡大、憲法をくらしにいかす観点と実践、地方自治問題の重視など情勢と課題について討論を深めました。「12・8憲法講座」には約80人が参加。講演「核兵器も戦争もない世界をめざして—憲法9条の今日的意義」(川田忠明日本平和委員会常任理事)と特別報告「比例定数削減のねらいとたたかい」(岩橋進吾弁護士)が行われました。

【群馬】12月19日に行われた群馬憲法会議総会では、自民党政治と同じ道を歩む民主党政権が批判され、地域や職場で今こそ9条、憲法を守る声と運動を響き合わせ、13条や25条を生かして国民生活を守る活動の強化が申し合わされました。川村俊夫憲法会議代表幹事が記念講演を行いました。

【大阪】1月28日、大阪中ノ島公会堂で「府民の集い」が開かれ、1000名が参加、「比例定数削減は絶対にストップを」と決意を固めました。川辺和宏大阪労連議長が主催者あいさつ、森英樹龍谷大学教授が「(衆)議員比例定数削減問題の深層と真相」をわかりやすく解明、これを受け団体・地域代表6名が「私の決意」を表明しました。また、「タイムリーな集会であった」「公会堂の大会場が満員になる事実が本問題の重要性を物語っている」「日本の民主主義を守る第一歩が今夜の中ノ島から踏み出したと評価されるよう頑張りたい」等、172通の感想文が寄せられました。

【東京】1月28日、九団体代表は新宿西口で街頭宣伝、菅内閣が衆議院比例定数削減を強行しようとしていると厳しく批判、国民的な運動でこれを阻止しようと訴えました。行動には25名が参加、全労連柴田副議長が司会、全学連福田書記長、民医連湯浅事務局次長、憲法会議橋本代表委員、農民連上山国民運動副部長、自由法曹団菊池団長、新婦人米山事務局長、全労連大黒議長が宣伝カーから呼びかけました。

街頭宣伝署名行動

次回；2月19日(土)1:30～九条の会、憲法会議合同
会場は帯屋町グリーンロード